

数学理科甲子園

数学理科甲子園 2013 が 10 月 26 日に甲南大学キャンパスで行われ、本校からも 2 年生 6 名が参加しました。予選、本戦、決勝と 3 段階で行われます。本校チームは予選を 62 校中 6 位で通過し、本戦に臨みましたが、惜しくも決勝進出とはなりませんでした。

〈生徒感想 1〉

この大会に参加して感じたことは、「一つの知識だけでは問題は解けない」ということです。特に本戦の数学では、どうやれば式がうまく変形できるか、その方法が短時間ではなかなか

閃きませんでした。また理科の実技では、摩擦力を上げるためにどうすればよいか、またそれを製作の中に取り込むにはどうすればよいか、ということの難しさを感じました。

〈生徒感想 2〉

本戦の実技競技では、紙の上から実物への応用力不足を感じました。ゴムを動力とした車を走らせる際、授業で習った摩擦力の知識を生かせばうまく走る、ということに考えが至らなかったことが残

念です。悔しい思いもしましたが、何よりもメンバーが一致団結できたこと、内容について一緒に話せたことがとても楽しくいい経験になりました。



グローリー株式会社 工場見学

10 月 28 日に総合自然科学コース 2 年生の生徒が、グローリー株式会社（姫路市）へ工場見学に行きました。

グローリーは、レジの釣銭機などの通貨処理機や自動販売機のほか、選挙時の開票作業における文字認識や入退室管理のための顔認証システムなどの開発から製造・販売・メンテナンスまで幅広く手掛けておられます。

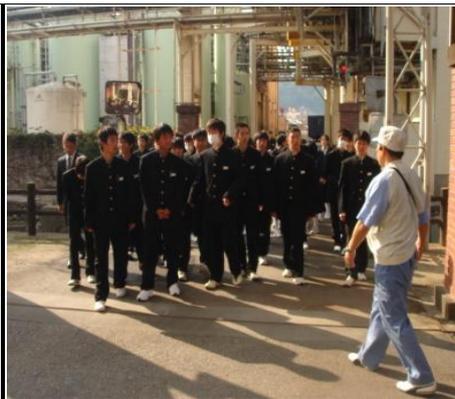
この日は、最初に会社概要の説明を受けた後、班に分かれて工場やショールームの見学をしました。特に通貨処理分野・情報処理分野における技術の高さや市場の大きさに驚くと同時に、企業活動の内容や最先端の生産現場の状況を知ることができました。普段見ることができない製造現場を見せていただき、将来の日本のものづくりを担う生徒達は思いを新たにしました。



ヒガシマル醤油株式会社 工場見学

総合自然科学コース 1 年生の生徒が全国的にも有名なヒガシマル醤油株式会社へ工場見学に行ってきました。

この研修では、単に醤油の製造過程を知り、施設見学をさせていただきだけでなく、企業人として要求される資質（挨拶や積極性など）や食品の製造・研究に様々な分野の専門家が携わっておられることなど、企業の方の生の声を聞くことができました。



〈生徒感想〉

ヒガシマルの工場では、ただ醤油を作るだけでなく、工場内に研究所があって、そこで酵母菌などの研究をしたり、新しい菌を探していると知って驚いた。あまり食品を作る工場で、化学技術などが使われているイメージがなかったので、こういうところで使われているんだなと思った。